

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		徴収費（後期高齢者）[保険料徴収事業]									
予算科目	款 1	総務費	項 2	徴収費	目 1	徴収費	事業番号	1			
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	保険年金			課	高齢者医療年金		係	課長名	岩野 秀夫		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 5			
【施策名】 社会保障の充実							総合計画書(ページ)	63			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	後期高齢者医療制度被保険者 →				調定額						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
後期高齢者医療制度の円滑な運営 →				収納率							
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
東京都後期高齢者医療広域連合において賦課決定された後期高齢者医療保険料の徴収を行う。徴収開始通知書等や納入通知書の発送、滞納者に対する督促・催告・臨戸訪問を行った。 →				収入済額							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	円	937,128,900	986,837,200	1,004,647,500					
	成果指標	②の数値	%	98.9	99.5	99.8					
	目 標	②の目標値	%	99.0	98.9	99.5					
		目標値設定の考え方 前年度以上の実績を目標値とする。									
活動指標	③の数値	円	926,447,800	981,770,900	1,002,263,300						
3 経費	事業費(実績)		円	4,356,917	4,983,197	2,532,746	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	4,356,917	4,983,197	2,532,746					
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	時間	968.0	968.0	968.0					
		所要人数(再任用)	時間	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	4,065,600	4,162,400	4,162,400					
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	8,422,517	9,145,597	6,695,146						
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成20 年度								
	(2) 環境の変化		医療制度改革の一環として、平成20年4月に後期高齢者医療制度が創設され、運営の主体として東京都後期高齢者医療広域連合が設立された。これに伴い、広域連合と区市町村の事務分担が定められた。被保険者証の交付等及び保険料の徴収については区市町村が担うこととされた。区市町村が担う業務について大きな変更はないが、被保険者の数は増加の一途を辿っている。								

